



# 感染症は割合 (%) ではなく、総数が問題

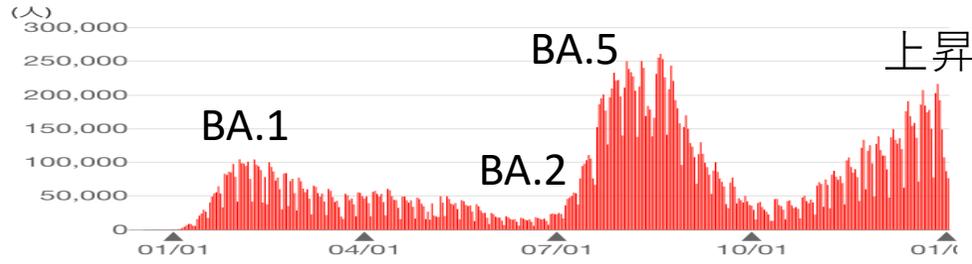
## 新規陽性者数の推移 (日別)

情報更新日：2023年01月02日

新規陽性者数 **76,264** 人  
 前日比 **↓ 10,660** 人

1週間平均 **147,225** 人  
 前週平均 **165,193** 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 **1年**



オミクロン株の方が死亡者数多い

9/2 : 347人  
 12/8 : 243人  
 死亡者数 **過去最高 → 12/29: 420人**

## 死亡者数の推移

情報更新日：2023年01月02日

死亡者数 **208** 人  
 前日比 **↓ 39** 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 **1年**



## 入院治療等を要する者等推移

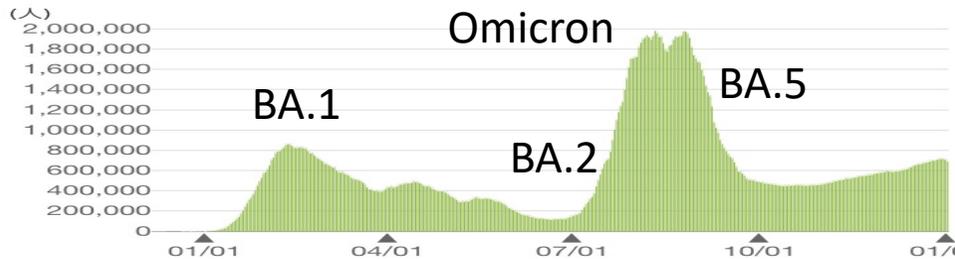
情報更新日：2023年01月02日

入院治療等を要する者 **698,441** 人 **↓ 17,643** 人

退院又は療養解除者数 **21,135,865** 人 **↑ 15,554** 人

確認中 **7,483,696** 人 **↑ 78,145** 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 **1年**



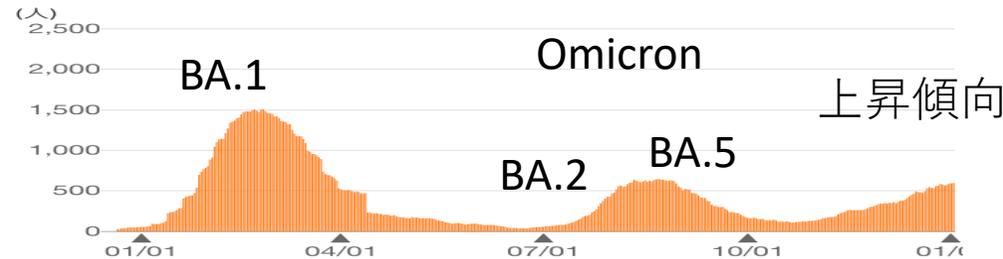
上昇傾向

## 重症者数の推移

情報更新日：2023年01月02日

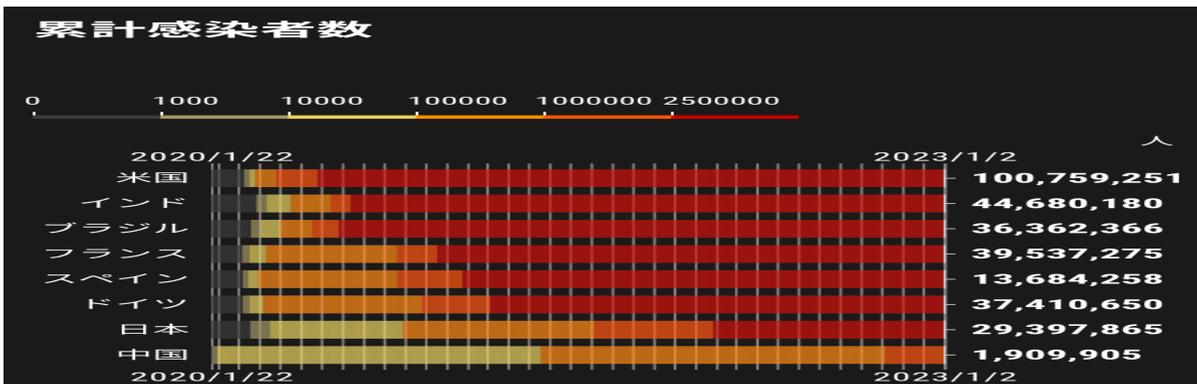
重症者数 **595** 人  
 前日比 **↑ 3** 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 **1年**

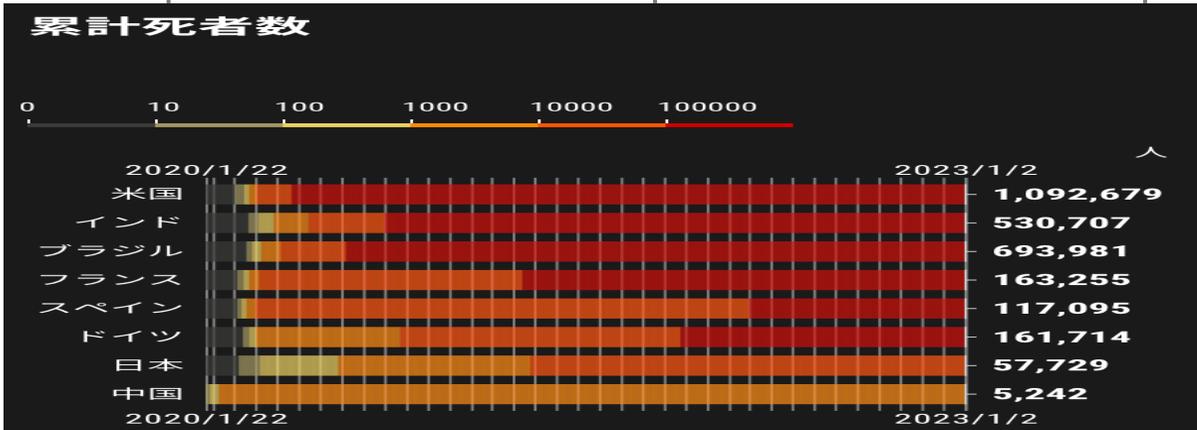
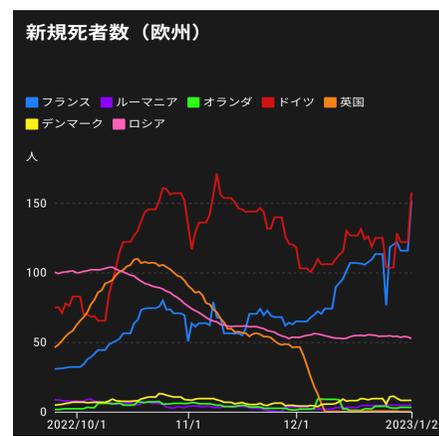
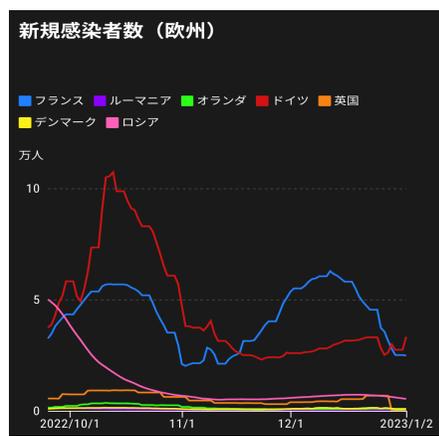


データからわかる - 新型コロナウイルス感染症情報 -

# 世界情勢



累計で  
日本人約3000万人  
がコロナに感染した

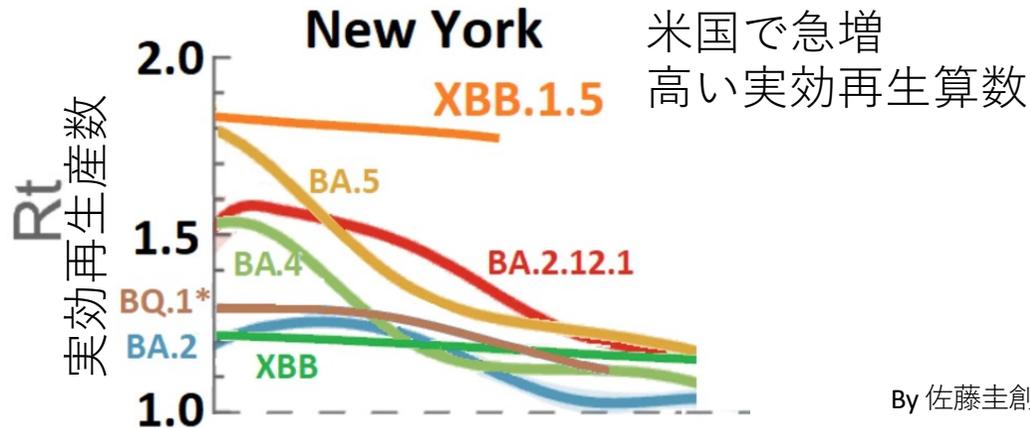
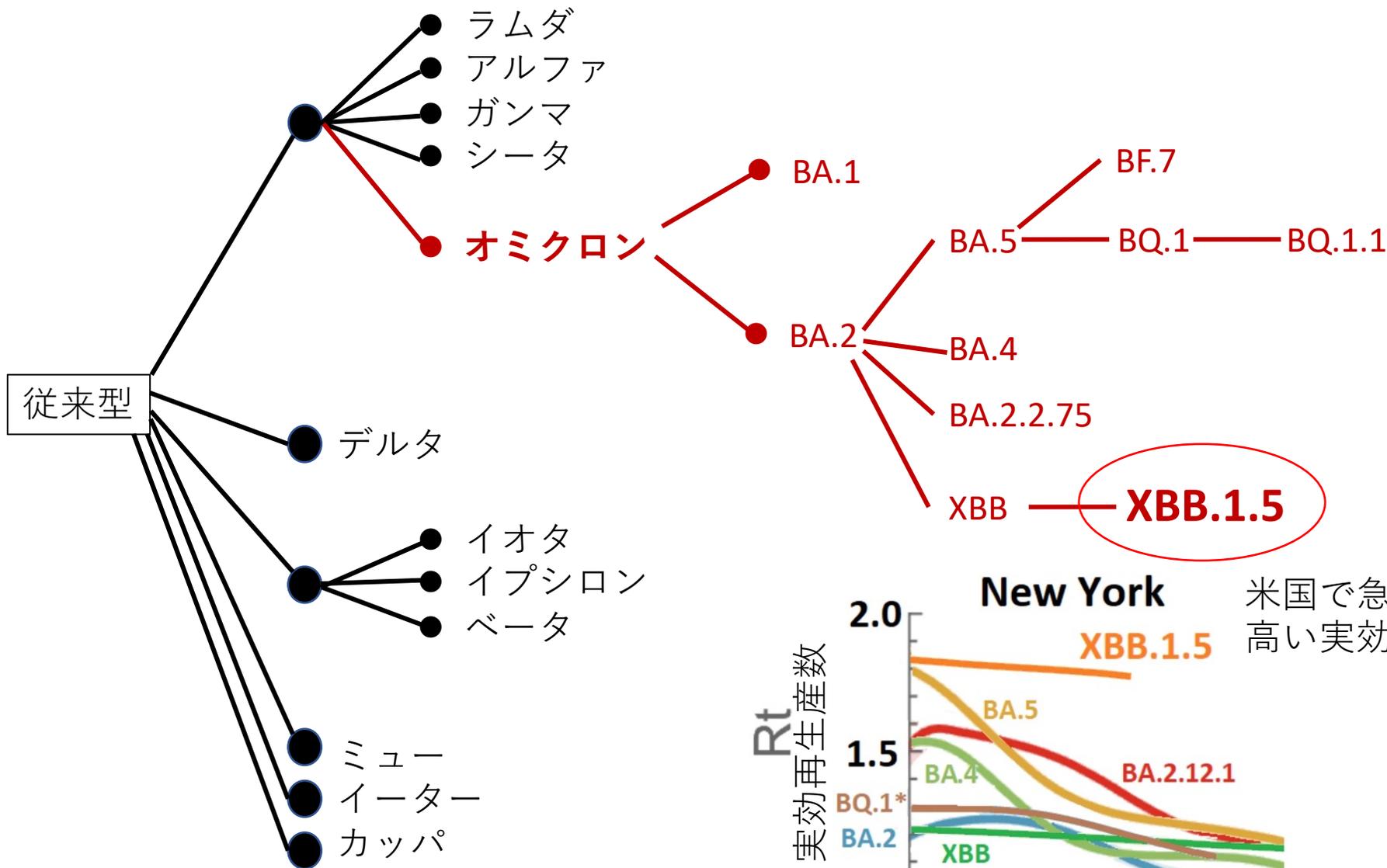


米国は100万人死んでいる  
日本は、約6万人

日本経済新聞

チャートで見る世界の感染状況 新型コロナウイルス  
2020年3月31日 公開 2023年1月3日 更新

# 新型コロナウイルスの変異株の系統図



# 重要

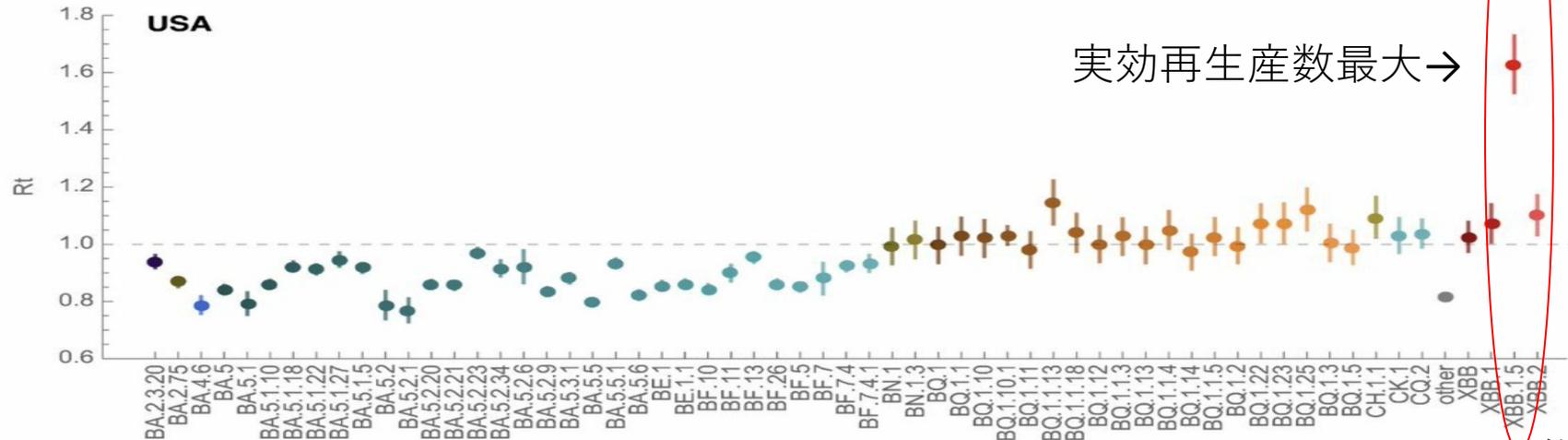
## オミクロン派生株

「現存する最悪の新型コロナ変異株」

# 「XBB.1.5」

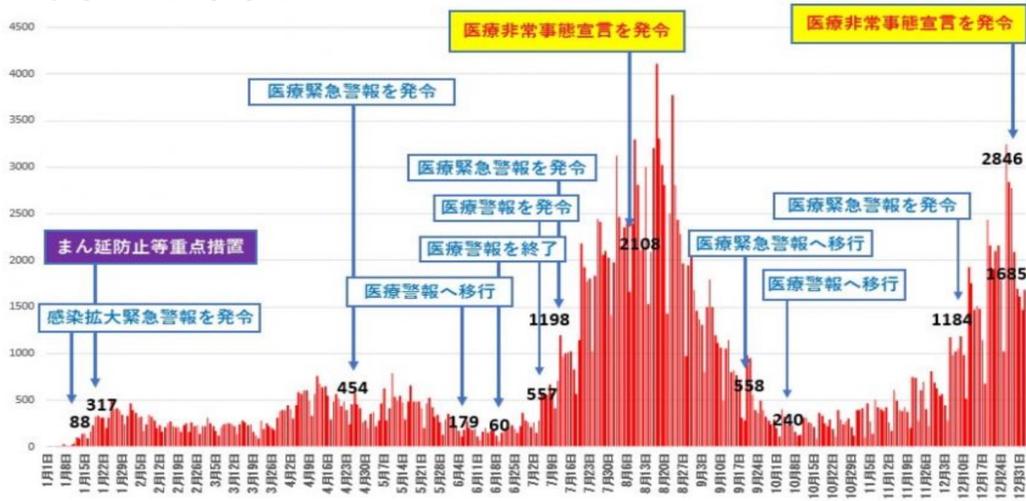
- 米疾病対策センター（CDC、12/31）：直近の週の国内のオミクロン株派生型「XBB.1.5」による感染が40.5%を占めた。前週の2倍に急拡大。
- 米国で感染者数や入院者数が増加
- 現存するオミクロン下位変異株のうち免疫回避力が最も強い
- XBB.1.5は「ステルスオミクロン」と呼ばれたBA.2から派生したXBBの下位系統。
- 「現存する最悪の新型コロナ変異株」:免疫回避性+伝染性が過去最高。
- XBB.1.5は他の変異株よりも細胞と結合する力が強い追加的な突然変異がある
- XBB下位系統はオミクロン用のワクチンブースターショットに対する強い抵抗力を備えている
- 集中治療室の入院患者11%増加した。
- 日本国内でも、12/26の千葉の分離株が、XBB.1.5と確認されている。
- 心臓、脳血管、胃腸の障害が生じやすい。

Reproductive number  $R_t$  at present across Pango lineages



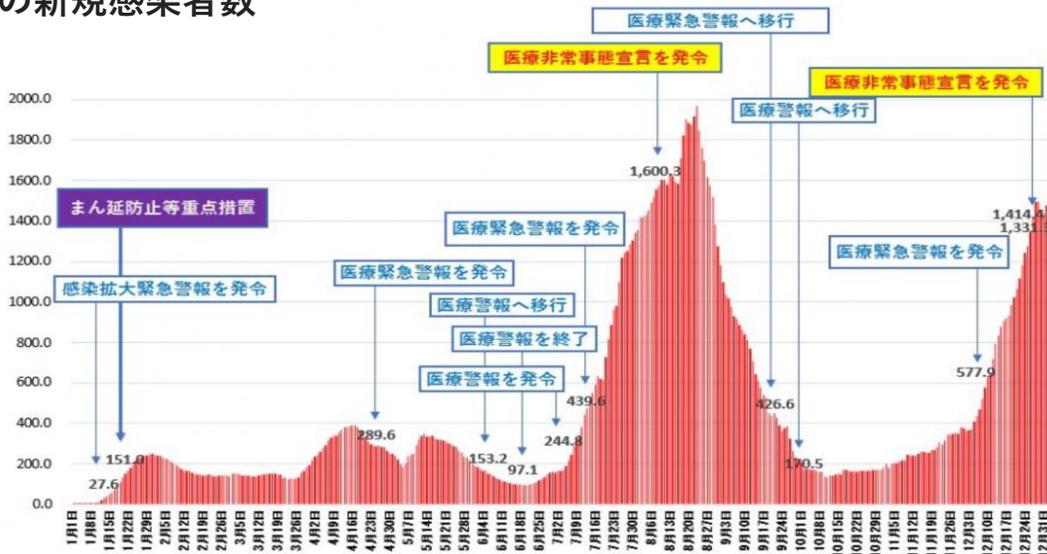
令和5年1月2日時点

## 宮崎県の感染者数



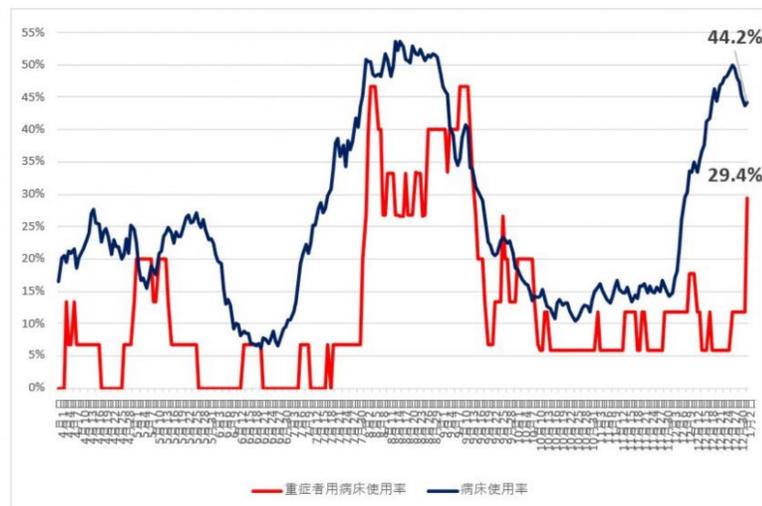
## 宮崎県の直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数

令和5年1月2日時点



## 宮崎県の病床使用率

令和5年1月2日時点



指標		現状値	備考
医療提供体制等の負荷	病床全体	44.2%	・1月2日時点 ・現時点での確保病床数 389床
	病床のひっ迫具合 (現時点での確保病床数の占有率等)	29.4%	・1月2日時点 ・現時点での確保病床数 17床
感染の状況	新規報告数 (直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数)	1331.3人	・12月27日から1月2日まで

※病床使用率、重症者用病床使用率の算定にあたっては、新型コロナウイルスの確保病床における入院患者をベースに算定しています。

### 【参考】警報の区分

区分	発令目安
医療非常事態宣言	・病床使用率、重症病床使用率のいずれかが50%を超える又はそのおそれがある場合 (感染状況や関係指標を総合的に判断)
医療緊急警報	・病床使用率、重症病床使用率のいずれかが25%を超える又はそのおそれがある場合 (感染状況や関係指標を総合的に判断)
医療警報	・病床使用率、重症病床使用率のいずれかが15%を超える場合

## 新型コロナ 河野知事が感染 本県10万人当たり全国最多

1/3(火) 10:30 配信 8 127

宮崎日日新聞  
MIYANICHI PRESS

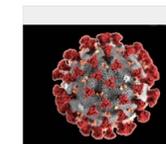
宮崎県は2日、河野知事が新型コロナウイルスに感染したと明らかにした。38度の発熱や倦怠（けんたい）感、のどの痛みがあり、6日まで公舎で療養する。県庁で4日に予定していた「仕事始め式」が中止になるなどの影響があるが、災害などの危機管理はオンラインで執務に当たる。

宮崎日日新聞

中国「変異株の恐怖」で下痢止め売り切れ…台湾、中国からの入国者28%が陽性

1/3(火) 16:58 配信 127

中央日報



新型コロナウイルス

1日から2日まで台湾に到着した中国発の航空便4便の搭乗客のうち27.8%が新型コロナウイルス感染者と確認されたと台湾紙聯合報が3日に報道した。

台湾防疫当局の指針に基づき空港到着直後にPCR検査を受けた524人のうちで146人が陽性と確認された。台湾大学公共衛生学院の陳秀熙教授は「データは予想範囲内にある。今後中国発の陽性者の割合は最大35%に達するだろう」と予想する。

最近イタリアが中国発の入国者を空港で全数調査した結果、陽性者の割合が38~52%に達したのと比較すると明らかに低い数値だと聯合報は指摘した。台湾中央感染症指揮センターの莊人祥報道官は「初日の検査データは単に参考用であり各国の検疫政策が異なり入国者の形態も違い比較するのは難しい」と話した。莊報道官はまた「台湾はまだ観光客に入国を開放しておらずほとんどが台湾僑胞や企業家であるのに対し、日本とイタリアは大陸からの観光客が中心と母数自体が違い、台湾の空港のPCR陽性率が低いのは予想に合致している」と説明した。

これに対し中国発の感染者が台湾に新たな新型コロナウイルス流行を呼び起こしかねないとの懸念も出てきた。台湾感染症医学会の黄立民名譽理事長は「陽性率27.8%は4人に1人が陽性の格好。彼らが台湾入境後に台湾人と接触すれば衝撃を呼び起こす恐れがある」と台湾紙中国時報が3日1面トップ記事で報道した。黄理事長は「新たな感染ピークが差し迫っている。高齢者や慢性疾患患者が中国から帰ってきた台湾僑民と会えばとても危険なので春節前にBA.5ウイルスに効果がある次世代ワクチンを急いで接種することを建議する」と話した。

記事入力：2023/01/03 09:42

## 米ポンペオ前国務長官「中国のせいで数百万人がコロナに感染する恐れ」

ツイート いいね 12 B10



中国でコロナ感染者数が急増する中、米国のマイク・ポンペオ前国務長官は「中国のせいで数百万人がコロナに感染する恐れがある」と警告した。

米ニューヨーク・ポスト紙が1日（現地時間）に報じたところによると、ポンペオ氏はこの日あるラジオ番組に出演し「中国の習近平・国家主席が中国人の旅行を自由化し、（コロナの）再流行が起こるかもしれない」と指摘したという。

中国は1月8日から入国規制を緩和することから、中国人の海外旅行者数も増加するとみられており、世界各国は中国からのコロナ再流行を懸念し入国者に対する規制を強化している。

ポンペオ氏は「中国人の50%が（海外）旅行するだろう。2020年春に感染した中国人が全世界に出たように、彼らによって再び多くの人が（コロナに）感染することを放置する理由はない」と述べた。

## コロナ感染、全国で新たに7万5885人 空港検疫で84人確認

1/2(月) 20:05 配信 23

朝日新聞  
DIGITAL



新型コロナウイルス イメージ

新型コロナウイルスの国内感染者は2日午後7時半現在、新たに7万5885人が確認された。死者は全国で244人だった。

都道府県別の新規感染者数は、東京都が7537人で最も多く、次いで神奈川県が4987人、大阪府が4980人、愛知県が4252人だった。死者が最も多かったのは東京都で24人、大阪府20人、神奈川県17人と続いた。

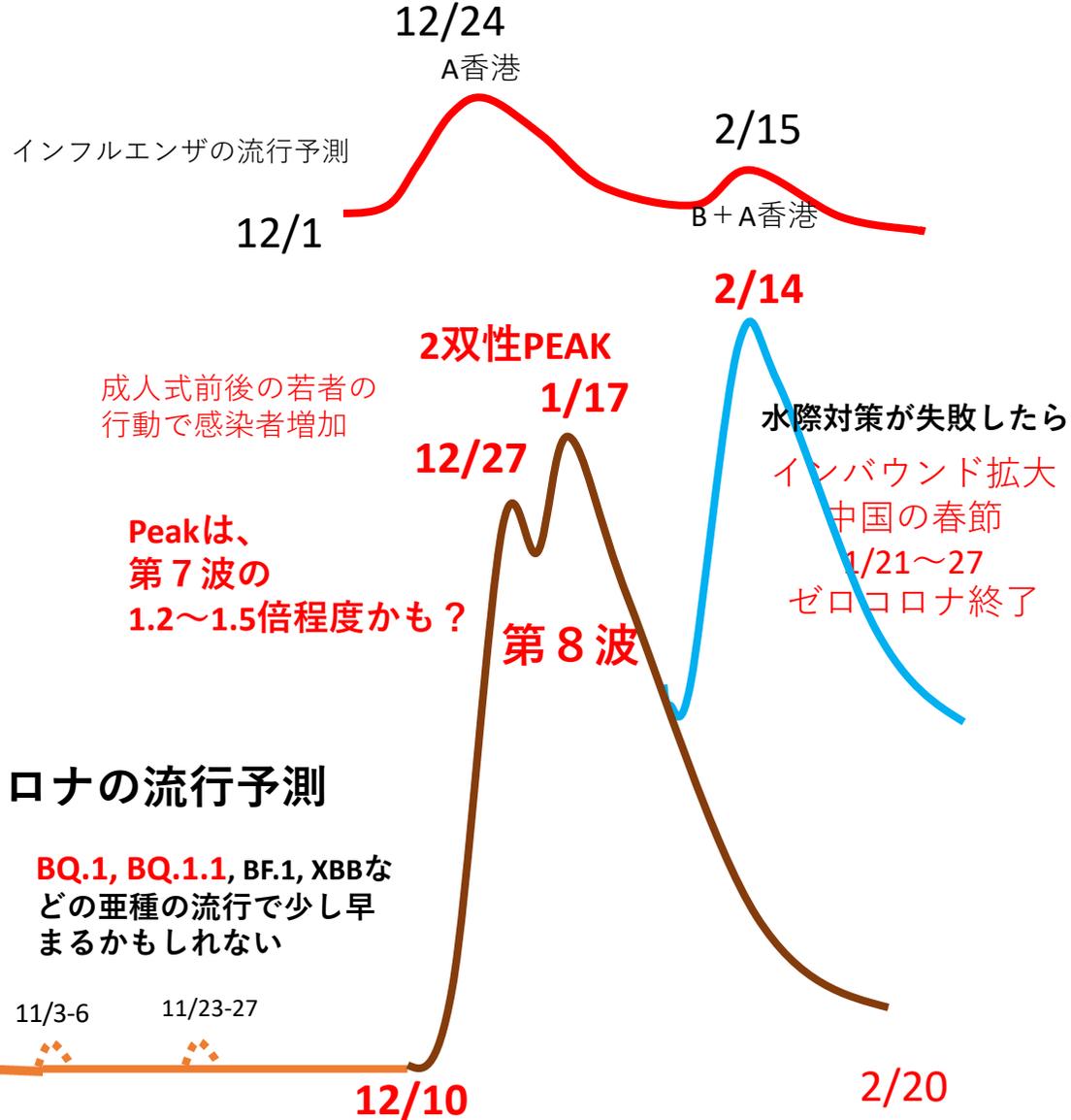
空港検疫などで確認された感染者は84人で、うち82人が中国に滞在歴がある人だった。中国での感染拡大を受けて、日本政府は昨年末から水際対策の強化を始めている。

朝日新聞社

# これからの流行予測

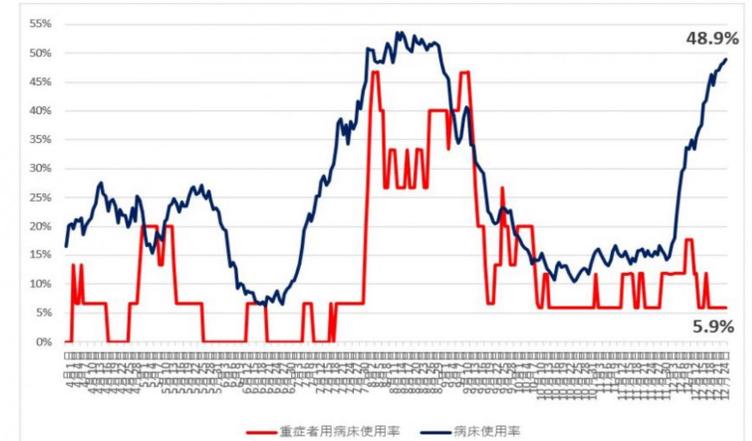
インフルエンザが流行期に入ってきた  
12~1月はツインでパンデミックの可能性 (医療崩壊危機)  
正月、成人式での感染者増加  
インバウンド：中国からの感染者流入 (春節1/21~27)  
BA.5 ⇒ BQ.1 ⇒ XBB.1.5と流行株が置き換わっていく

寒冷、乾燥、寒気低下、  
人流、マスク外し、インバウンド  
オミクロン亜種の広がり



# 宮崎県の病床使用率

令和4年12月26日時点

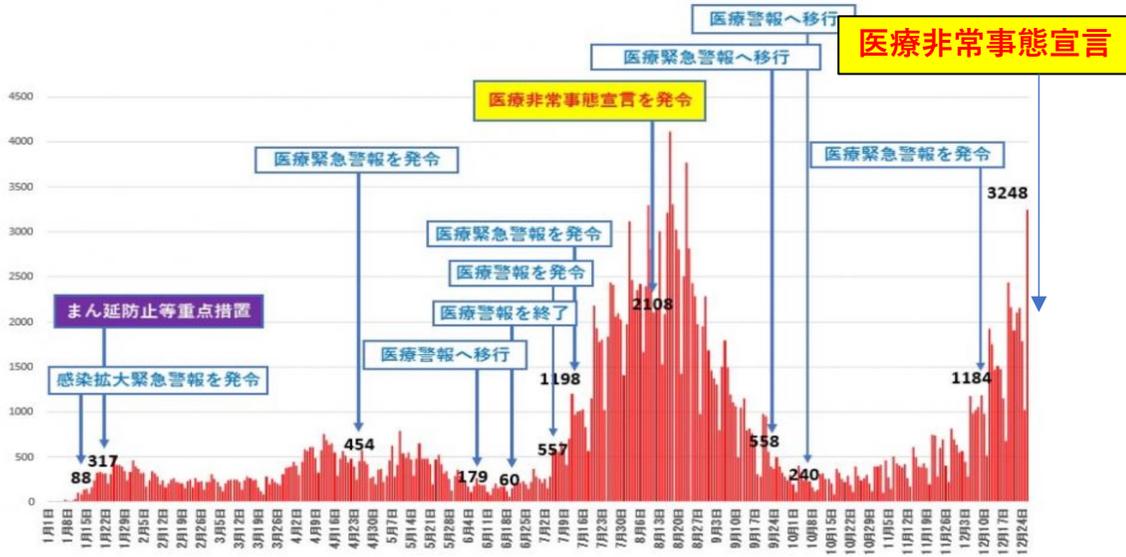


指標		現状値	備考
医療提供体制等の負荷	病床全体	48.9%	・12月26日時点 ・現時点での確保病床数 378床
	うち重症者用病床	5.9%	・12月26日時点 ・現時点での確保病床数 17床
感染の状況	新規報告数 (直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数)	1350.3人	・12月20日から12月26日まで

※病床使用率、重症者用病床使用率の算定にあたっては、新型コロナウイルスの確保病床における入院患者をベースに算定しています。

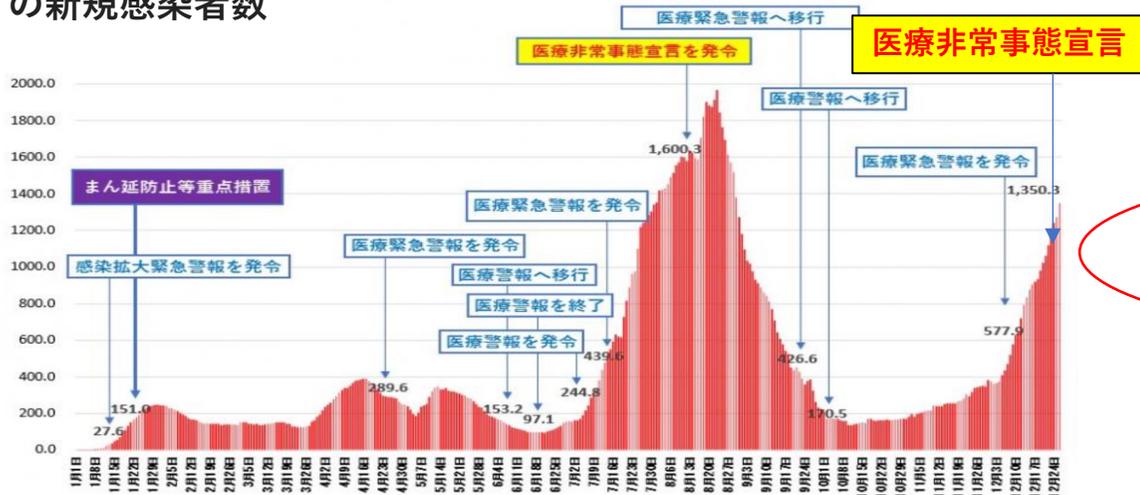
# 宮崎県の感染者数

令和4年12月26日時点



# 宮崎県の直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数

令和4年12月26日時点



## 【参考】 警報の区分

区分	発令目安
医療非常事態宣言	・病床使用率、重症病床使用率のいずれかが50%を超える又はそのおそれがある場合 (感染状況や関係指標を総合的に判断)
医療緊急警報	・病床使用率、重症病床使用率のいずれかが25%を超える又はそのおそれがある場合 (感染状況や関係指標を総合的に判断)
医療警報	・病床使用率、重症病床使用率のいずれかが15%を超える場合

- 全国的に感染者数が急増傾向。（**年末年始で、医療機関が休みで見かけ上感染者減少しているように見える**）
- 実効再生算数では、西日本、特に九州で急速な広がりを見せている。
- 実効再生産数は、1ヶ月以上継続的に1以上で増加傾向で、今後も間違いなく増加傾向は継続する。まだピークではない。
- 感染の実態は、東高西低でから西高東低に変化。
- 延岡市の実効再生産数は、**5週連続で1.28, 1.33, 1.54, 1.24, 1.26と1.2以上の高値、その後今週は0.9だが休日効果での見かけ上感染者減少、1週間あたりの感染者は1900人超えており、今後も寒冷気候の進行と共に増加傾向となる。**
- 加えて、県内の病床使用率は、50.0%と急増し、12/27 医療非常事態宣言発令された。
- 県内では、宮崎市内・都城市の感染者の増加が顕著であったが、現在、延岡、日向、高千穂で感染者が急増している。
- 高齢者への感染が増加し（高齢者施設でのクラスター多発）、入院患者数、重症患者数、死者数が急増。
- 医療施設内の感染急増。コロナ病棟以外のコロナ入院患者急増。
- 病院職員の感染者・濃厚接触者も急増し、病院機能維持困難になってきた。
- 延岡市の宿泊療養施設は、一時的に、隔離目的入所を停止し、症状強い人の入所のみとした。
- 感染のピークは、東日本は12月中旬から年末、西日本は12月中旬～年始、その中で九州は、成人の日の数日後がピークとなる可能性高い。
- インバウンドで中国からの人流増加、適正に水際対策行わなければ、1月末～2月初めにさらに急増する可能性あり。今年の春節は、1/21~27。
- 宮崎県の感染は、現時点で感染増加期にあり、10代の感染者急増中。今後、小中高生～大学生の若年世代から高齢者感染へと変化し、さらに入院必要者・重症者は増加する。
- 延岡は、年末と年始～成人式後までのダブルピーク、ピークは第7波の1.2～1.5倍を推定。。
- 延岡市内の入院患者もこの1週間20～30を推移しており、明らかに増加傾向である。高齢者施設でのクラスターが多発している。
- 以上より、全国的には感染者増加傾向にあり、延岡市内に関しては小康状態から急激な増加傾向へ転換した。
- 今後、BQ.1, BQ.1.1系統への、置き換わりが進んでいる。今後、米国から、XBB.1.5が流入し、増加する可能性あり。
- 感染した在宅高齢者の搬送が問題になっている。救急車頼み・・・。**搬送業者と県で調整中。**
- 休日の入院体制、夜間の受診体制の強化が必要。夜間の、救急車の要請急増。
- **解除直後の患者の受け入れについて、問題が生じている。**
- 延岡市点滴センターは：パンク状態
- コロナ関連患者の救急要請件数も急増、点滴必要患者も増加傾向。特に、休日夜間の救急要請急増。
- 年末年始～成人の日の発熱外来していただける医療機関増え、当番医のバックアップが強化された。
- 現在、すでに日中の診療での発熱患者急増、通常の検査・診療・健診の業務できず、発熱患者を断る病院出てきた。健診業務困難となっている。
- 常備薬、常備食の準備が必須。薬局で厚労省認定の抗原検査キット購入しておく。特に、ゼリー状飲料、解熱薬、鎮咳薬、整腸剤が必要。
- インフルエンザは、A香港株が、徐々に増加傾向。流行は、大阪などで始まった。

# 医療非常事態宣言

を発令！

## ■発令期間

12月27日(火)～1月26日(木)を目途

※終期は、医療のひっ迫状況等を見極めて判断



基本的  
考え方

「第8波」の感染拡大により、高齢者の入院患者が急増しており、病床使用率が50%に近づくなど、県内のぜい弱な医療提供体制はひっ迫しつつある。これから年末年始を迎え、人流や接触機会のさらなる増加が見込まれる中で、リスクの高い高齢者等を感染から守るとともに、県内の医療機能を維持していくため、県独自の「医療非常事態宣言」を発令する。

# 第8波における感染の広がり（イメージ）



いつ、どこで、誰が感染しても  
おかしくない状況！

# 県民の皆さまへのお願い（12月27日～）

## 混雑した場所や感染リスクの高い場所への 外出・移動は控えて！



高齢者や基礎疾患のある方及びこれらの方と日常的に接する方は、特に注意をお願いします。また、少しでも体調に異変がある場合は、出勤や登校など外出・移動は控えてください。

## 感染リスクの高まるような 大人数・長時間は控えて！



会食の際は、感染防止対策の認証を受けた「ひなた飲食店認証店」を利用し、感染リスクの高まるような大人数・長時間は控えてください。（自宅等での会食も注意）

## 重症化リスク等に応じ、適切に医療機関の受診・療養を！

### 【ハイリスクの方等】



65歳以上の方や基礎疾患がある方、お子さんや妊娠している方は、少しでも体調に異変がある際は、すぐに身近な医療機関を受診してください。（できる限り、平日・日中の受診をお願いします）

※無症状で感染に不安がある方は、無料検査を受けしてください。

宮崎県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター ☎0985(78)5670 (24時間対応)

宮崎県検査相談コールセンター ☎0985(68)1001 (受付時間:9時～17時) ※土日祝を含む

### 【ハイリスクの方以外】



症状が軽いなど、医療機関を受診せず、自宅で速やかに療養を開始したい方は、抗原定性検査キットで検査を行い、陽性であった場合は、陽性者登録センターに連絡し、自宅等で療養を行ってください。

【対象者】

65歳未満の方、重症化リスクを有しない方、妊娠していない方

宮崎県陽性者登録センター ☎0570(089)050 (受付時間:9～18時)

## 高齢者施設・障がい者施設の対面での面会は控えて！



緊急やむを得ない場合を除き、高齢者施設等での対面での面会は制限してください。（ガラス越しやオンラインでの面会をお願いします。）

## ワクチンの早めの接種を！



オミクロン株対応ワクチンの早めの接種をお願いします。インフルエンザとの同時流行も懸念されているため、インフルエンザワクチンの早めの接種もお願いします。



## イベントは感染防止対策を徹底の上、国の基準に沿って開催を！

イベントは、国の定める収容率及び人数上限の範囲内で、主催者において感染防止対策を徹底して開催してください。また、飲食時には、「ひなた飲食店認証店」の認証基準に準じた対策の実施をお願いします。

# 年末年始に向けての 県民の皆様へのお願い

■ 感染拡大に最大限の警戒を！

---

■ 高齢者を守る行動を！

---

■ 地域医療を守る行動を！

---

# 感染拡大に最大限の警戒を！

年末年始は普段会わない方との接触機会が増加します

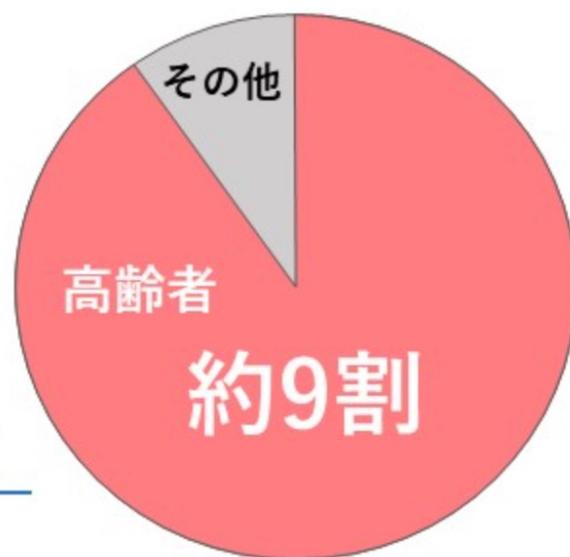
- ・ マスク・手洗い・換気など、基本的な感染防止対策の徹底を！  
(初詣や初商い等にお出かけの際は、十分な注意を！)
- ・ 感染リスクの高まるような大人数・長時間の会食は控えて！
- ・ 成人式前後の会食も特に注意を！
- ・ 帰省等での来県前後には、無料検査の実施を！

# 高齢者を守る行動を！

## 高齢者の入院患者が急増し、 医療がひっ迫しつっあります

〔 入院患者に占める高齢者の割合 〕

- ・ 感染に不安のある方は、今は、  
高齢の親族等に会うのは控えて！
- ・ 帰省して高齢の親族等に会う場合は、  
事前の検査で陰性の確認を！
- ・ 高齢の親族等と会う時は、「うっさない」  
ための感染防止対策の徹底を！



※オミクロン株は重症化しにくいとされているが、高齢者（80代以上）においては約2割が入院